



吉原 美智恵 議員

学習指導要領の 改定の準備は

教育振興会で準備を進める

教育
委員長



体験学習は、楽しいな

【吉原】文科省は、去る2月14日に学習指導要領の改定案を公表した。小学校で英語が正式教科になったり、「特別の教科 道徳」が設けられたり、大きな変革が迫られる内容となっている。

早めの対応と準備は。

【教育委員長】グローバル化が進む中、外国語によるコミュニケーション能力が必要とされる。重点課題のひとつとして、町内の教職員と教育委員会事務局とで構成する教育振興会で準備を進めていく。

道徳についても、児童・生徒の内面をどのように見取り、記述していくか研修を行い、対応する。

【吉原】大山町では、何十年もA・L・Tを配置し、力を入れてきているが、英語の苦手な子どもをどう引き上げていくのか。

また、授業時間の確保も問題である。例えば公民館などで「英語村」を開設してはどうか。

【教育委員長】保育園からA・L・Tを配置し、力を入れていく。英語村はやってみよう。

地域自主組織の行方は

町長

ともに検討し支援していく

【吉原】地域自主組織は、現在10地区のうち7地区が設立され、それぞれの活動を行っている。設立されていない3地区を含め、活動の差が広がってきたように見える。

国でも地域のあり方を問う検討がされているが、町でも地域の課題解決のための支援が必要ではないか。

【町長】それぞれ個性のある取り組みになっているが、活動の交流の輪を広げ、勉強しあう展開できればと思う。

人材の問題もあり、状況によって取り組みの違いは出てくる。



自主組織で海岸をきれいに

【吉原】人口減少や高齢化が進む中、自主組織の役割は大きくなる。

個々の地域が光り輝くことで、町全体の価値が高まるということを念頭において、行政

の職員と共に持続可能な運営が必要ではないか。

【町長】活動に対する支援として事業予算も組み、活動についてはともに検討し、対応していく。